

主任研究委員研修会報告

1 主任研究委員制度について

平成 23 年度末、小笠教育研究協会における各部の活動が、一斉研究報告会のための準備会になってしまっているという反省から、教科の研究をいっそう深め、教科に強い人材を育成することをねらいとして平成 24 年度に主任研究委員制度を立ち上げました。

主任研究委員は、小笠地区の教科等のリーダーであり、部員とともに数年間をかけて研究を深めた内容を各校に広めていくことで、小笠地区の教科等の研究の推進を担う役割があります。制度の立ち上げから 11 年が経過し、委員の顔ぶれも変わってきてはいますが、委員は自覚をもって意欲的に活動を続けています。一斉研はもちろん、各校の校内研修に関わるなど、小笠地区全体でその活動が認められ、活躍の場が広がっています。

2 主任研究委員研修会

(1) 開催日 令和 4 年 6 月 14 日(火)

(2) 実践報告「主任研究委員として取り組んだこと」

田林昌子 教諭（掛川市立原野谷中学校：美術）

- ・教科の自主研修等での活動を前向きな姿勢で取り組むこと
先生方との交流をとおして研修会が深めるようにした。
- ・地域の中での美術教員としてできること
中学 1 年生の作品を各小学校で展示させてもらい興味を持ってもらえるようにした。また来校者にも作品を見ていただくための環境を整備した。
- ・これからできることは何だろうか
今年度から始まる原野谷地区の新しい活動、サマーフェスティバルの開催のために美術科教員として活動した。

内藤一紀 教諭（掛川市立城北小学校：理科）

- ・校内実践の共有
子どもに理科の見方・考え方や問題解決の能力を育成する授業をめざした研修を行った。
- ・教育ICTを取り入れた実践をまとめる
理科教育は実験や観察、飼育活動などの直接体験を通して理科の見方・考え方や問題解決能力の育成を目指した。



中野和代 教諭（掛川市立城北小学校：美術）

- ・活動報告
他校の 6 年次研修の指導案検討に参加した。
校内で図画工作の授業の相談にのる。
- ・心がけること

主任研究委員であることをアピールし活動した。
相手にも自分にも負担にならないよう活動を配慮する。
アンテナを高くし情報収集をした。

安間和美 教諭（掛川市立上内田小学校：道徳）

- ・授業づくりの相談にのること
授業展開や発問、中心発問、問い返しの発問、教具、板書構成など。
「小さな道徳」などの実践や参考書籍を紹介した。
- ・オンライン会議議事録
議事録を蓄積することで「なぜこの発問になったのか」「この資料を提示することで児童生徒にどのようなことを気付かせたり、考えさせたりしたいのか」等の経緯を共有したり事後に振り返って確認したりできるようにした。
- ・実践の共有
外部講師との連携やカリキュラムマネジメントを行いながら授業案及び実践報告書をまとめ推進委員へ報告した。道徳の授業や板書、年間を通じた振り返りシートを紹介した。

小野芳彦 教諭（菊川市立菊川東中学校：保健体育）

- ・保健体育科授業指導案のデータベース化
保健体育科研究推進委員会で、各種目の指導案を紹介した。
指導案をレポートにまとめ、教科フォルダに構築した。
- ・ICTの活用方法を共有
保健体育科研究推進委員会で、iPad等の保健体育科授業での活用方法について紹介し、情報を小笠の教育内に掲載した。
紹介した活用方法については、各学校で推進委員が実践した。
- ・校内研修の教科別研修で評価方法について協議
研究した新学習指導要領の評価方法を校内の教科別研修で紹介した。

増田有正 教諭（菊川市立小笠南小学校：生活科 総合的な学習）

- ・学校教育目標を踏まえて育成を図る資質・能力を明確にする全体計画の作成
総合的な学習の時間全体計画の重点的に育成を図る資質・能力とのつながりを明確にした。
3・4年生合同での探求学習を計画した。
キャリアパスポート、通知表所見作成と連動させた。
- ・地域との連携をコーディネート
「子ども菊川市検定づくり」「SDGs 起業プラン学習」
- ・探求の地図の作成
児童が探求のサイクルを自覚することができるよう可視化した。
- ・合科的学習（カリキュラムマネジメント）の推進
カリキュラムマネジメントシートで計画

3 主任研究委員研修会を通しての成果

6名の主任研究委員に実践報告をしていただいた。それを基に今後の活動について協議したことで主任研究委員として取り組むべきこと、方向性が明確になり、委員の意欲を高めることにつながった。